

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04030131

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B		
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	防犯灯LED化整備事業		見直し年度	平成25年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	防犯灯LED化整備事業		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	防犯灯LED化整備 388本		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

741	全 体 計 画 事 業 内 容	平 成 25 年 度 事 業 内 容	平 成 26 年 度 事 業 内 容	平 成 27 年 度 事 業 内 容	平 成 28 年 度 事 業 内 容	平 成 29 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	防犯灯LED化整備(388本)	防犯灯LED化整備工事	防犯灯LED化整備工事	防犯灯LED化整備工事	防犯灯LED化整備事業	防犯灯LED化整備事業
	各自治会の防犯灯はすべて水銀灯となっており、LED照明に取り替えることにより、電気料金の削減や、防犯灯の長寿命化が図られる。また、これに伴い、各自治会に交付している自治会運営費補助金の大幅な削減が図られる。	沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本	沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本	沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本	沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本 沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計64本 ※補正繰越(H28実施)6,000千円	※H29年度へ繰越 沢木地区、栄丘地区、開生地区、 雄武市街地区、曙地区(一部) 合計62本
計 画 事 業 費	事業費(千円)	34,400	6,000	6,000	12,000	6,000
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	2,200				2,200
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	32,200	6,000	6,000	12,000	6,000	2,200
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,140	5,908	5,843	11,600	5,789
	財源内訳					
	国庫支出金	5,500		5,500		
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	23,640	5,908	343	11,600	5,789	
	特定財源の名称 北海道総合交付金	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事 ・灯具取替67基	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H25繰越) ・灯具取替67基	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H26繰越) ・灯具取替67基 ・防犯灯LED化整備工事(H27繰越) ・灯具取替68基	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H28繰越) ・灯具取替61基	(実施内容等)
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値 防犯灯LED化整備 65本	防犯灯LED化整備 65本	防犯灯LED化整備 65本	防犯灯LED化整備 62本	防犯灯LED化整備 57本
		年度達成率 98%	97%	97%	96%	0%
	第6期計画への継続	全体達成率 17%	34%	68%	85%	85%
		備考欄				

事業名	防犯灯LED化整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	新谷朋人
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係	山口雄也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	自治会(防犯灯設置自治会のみ)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防犯灯LED化整備数
【抱える課題やニーズは】	近年の電気料金値上がりにより、各自治会の街灯(防犯灯)に係る電気使用料等が自治会財政を圧迫している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	水銀灯をLED照明に取り替えることで、電気使用料と設備維持費の削減を図る。	① LED化整備数(H28繰越)	目標年度 平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	防犯灯に係る自治会負担の軽減と町補助金(自治会運営補助金)の抑制		目標値 62本
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	防犯灯LED化整備工事(H28繰越) 水銀灯からLED照明に取替え工事を実施した。 沢木:4基 新日の出町:9基 日の出北町:1基 旭町:1基 日の出仲町:6基 宮下町:1基 末広町二区:2基 潮見町:8基 曙:17基 魚田:12基 計 61基	②	実績値 61本
			達成度 98.4%
			目標年度 平成28年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	自治会財政を圧迫している高額な電気料金の負担軽減とその金額を全額補助する自治会運営補助金の抑制のため必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	整備計画に沿って各自治会の防犯灯をLED照明に取り替えた。 H28繰越:全61基
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	LED照明の規格を統一するとともに、競争入札を実施することによりコスト削減を図った。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	防犯灯は、全町において防犯対策の必要性が高い箇所に設置されており、整備計画に沿って順次LED化を行っていることから公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的なLED化の推進により自治会の負担軽減と防犯対策の向上が図られている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
自治会負担の軽減と防犯対策の向上のため、引き続き計画に沿って事業を進めていく必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止